

トロンハイム会議報告 ～ CVIS デモ～

ITS・新道路創生本部 副調査役 中村 徹

REPORT

1 はじめに

2010年6月16日～17日にトロンハイム（ノルウェー）で開催されたISO/TC204/WG 5国際会議に出席し、欧州プロジェクトの一つであるCVISのデモを体験した。本稿ではCVISデモについて報告する。

2 CVIS

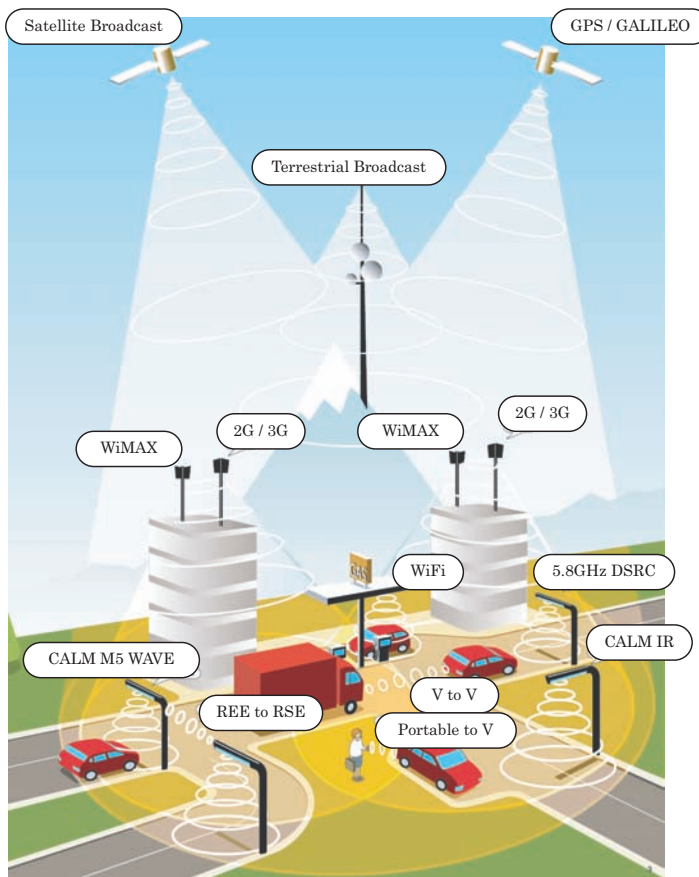
CVIS（Cooperative Vehicle-Infrastructure Systems）とは2006年2月～2010年1月にERTICO（欧州ITS推進のための官民連帯組織）の主導によって行われたプロジェクトで、EU（欧州連合）の第6次フレームワーク

プログラム（FP6）により、全体で4,100万ユーロ（1ユーロ＝110円として日本円で45億1千万円）の予算が承認され、この内、EUが2,200万ユーロを支援した。

CVISは、ネットワークの基盤をつくり、全ての車と道路（インフラ）が多くのメディアと情報交換し、広域の範囲での協調を行い、車と道路側、両方の面から枠組みを作ることを目的とする。このプロジェクトは、2009年からISOの国際標準で話題となっている“協調システム”のプロジェクトである。

CVISは日本のスマートウェイのようなシステムで、高速道路と一般道の区別なく車車間、路車間の協調が行われることと多メディアを利用した情報提供システムである。

CVISイメージ図



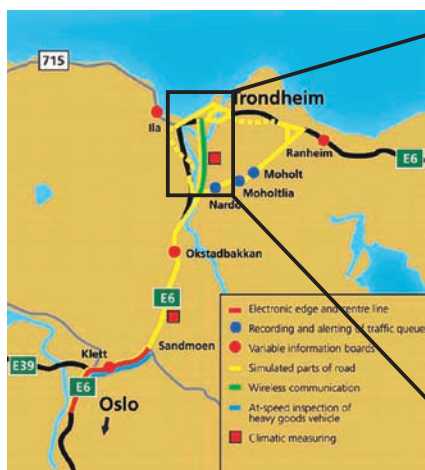
(出典：Q-Free CVIS OMM-CALM Brochure)

3 実地デモ

トロンハイムの街の一部にアンテナを設置し、CVISデモを実際に見ることが出来るようになっている。トロンハイムのデモはQFreeが主体で行っている。アンテナの設置位置は次の通り。

デモのサービス内容は、地図情報、ガソリンスタンド情報、道路課金状況、前方情報、駐車場情報、駅情報で、CVISで提供予定の一部のみ実施されていた。これら以外のCVISの

〈デモの場所とアンテナの設置状況〉



CVIS実地デモ位置



アンテナ設置位置



5.9GHzのアンテナ

〈サービスの表示〉



ガソリンスタンド案内



課金の状況



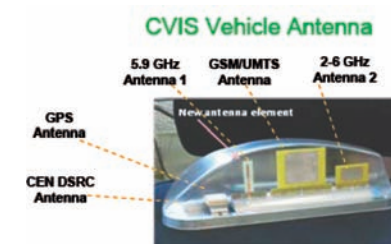
スクールゾーン案内



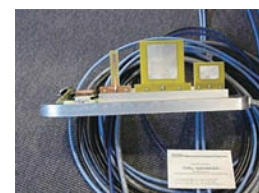
駅情報



車載アンテナ



CVISのアンテナ



サービスは、追突警報、走行車線情報、道路標識情報などがある。

4 所見

2009年9月にストックホルム（スウェーデン）で開催されたITS世界会議でのCVISデモはサービスの画面だけだったが、今回のデモは路側機からの電波の受信状況や、セルラー通信と5.9GHzの受信状況がモニターに映し出されており、実際に路車間通信が

行われていることが確認できた。

デモの完成度は高いが、車載器の大きさに問題点がある。デモで使用している車載用アンテナは、名刺と比較するとその大きさが想像できるように、バスのような大型車には設置できるが、乗用車への設置にはまだまだ課題が残されていると思われる。



5.9GHzの受信状況

〈賛助会員向け案内〉
デモのモニター映像（動画）をご覧になりたい方は hidoookmg@hido.or.jp までご連絡ください。